

平成20年度 氷高アクションプラン - 1 -

重点項目	学習活動の充実																																									
重点課題	自主的学習態度の育成と授業の改善																																									
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日の家庭学習時間が2時間以上の生徒(平成19年度、普通科) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>10月調査(定期考査直後)</td> <td>1年 33%</td> <td>2年 30%</td> <td>3年 66%</td> <td>全学年 43%</td> </tr> <tr> <td>11月調査(定期考査直前)</td> <td>1年 53%</td> <td>2年 62%</td> <td>3年 77%</td> <td>全学年 64%</td> </tr> </table> </li> <li>週末課題や小テストによる計画的自主的な家庭学習習慣の定着、互研授業の実施等による授業の質の向上、自然科学コースの探究活動の充実を図り学力向上に努めている。</li> </ul>		10月調査(定期考査直後)	1年 33%	2年 30%	3年 66%	全学年 43%	11月調査(定期考査直前)	1年 53%	2年 62%	3年 77%	全学年 64%																														
10月調査(定期考査直後)	1年 33%	2年 30%	3年 66%	全学年 43%																																						
11月調査(定期考査直前)	1年 53%	2年 62%	3年 77%	全学年 64%																																						
達成目標	①平日の家庭学習時間(普通科対象) 2時間以上の生徒が60%以上	②互研授業の実施 全教員が年間2回以上																																								
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導部、学年との連携を密にし、早期に進路目標を立て、その実現に向けて学習に取り組むよう指導する。</li> <li>計画表をもとに面接指導等を行い適切な助言を与え、生徒の家庭学習を支援する。</li> <li>計画的に週末課題や小テストを実施し、家庭学習習慣を定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期中に1回、2学期中に1回、互研授業を実施して、授業の質の向上を図る。</li> <li>学習シラバスを作成するとともに、教科部会を開催し指導法及び内容の検討を行う。</li> <li>正味50分の授業確保に向けて、引き続き生徒・教員共に努力する。</li> </ul>																																								
達成度	6月調査では全体で36% 10月調査では全体で42% 11月調査では全体で66%	100%																																								
具体的な取組状況	<p>(1) 平日の家庭学習時間が2時間以上の生徒(普通科)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>6月調査</td> <td>1年 28%</td> <td>2年 21%</td> <td>3年 58%</td> <td>全学年 36%</td> </tr> <tr> <td>10月調査(定期考査直後)</td> <td>1年 20%</td> <td>2年 29%</td> <td>3年 77%</td> <td>全学年 42%</td> </tr> <tr> <td>11月調査(定期考査直前)</td> <td>1年 60%</td> <td>3年 62%</td> <td>3年 77%</td> <td>全学年 66%</td> </tr> </table> <p>(2) 互研授業 1、2学期に1回ずつ互研授業を実施し、全員が2回以上の授業を実施した。昨年と比較して互研授業の参観者数も増えた。今後も互研授業を定着させ、「わかる授業」に努めたい。</p> <p>(3) 学習シラバス 全科目のシラバスを作成し、必履修科目についてはHPで公開している。</p> <p>(4) 正味50分の授業の実施(「学校の自己評価アンケート」H20.2月実施から) 教員への「正味50分の授業が確保されている」のアンケートについては、「十分に達成」「おおむね達成」をあわせて94%の割合を得た。正味50分の授業を確保しようという意識が定着してきている。</p> <p>(5) 学習・授業に関する生徒アンケート(H20.12月実施)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">普通科(12クラス)</th> <th rowspan="2">商業科(3クラス)</th> <th rowspan="2">全学年(15クラス)</th> </tr> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>全学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習充実度</td> <td>63%</td> <td>57%</td> <td>78%</td> <td>66%</td> <td>55%</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>授業満足度</td> <td>64%</td> <td>70%</td> <td>72%</td> <td>68%</td> <td>60%</td> <td>67%</td> </tr> </tbody> </table>		6月調査	1年 28%	2年 21%	3年 58%	全学年 36%	10月調査(定期考査直後)	1年 20%	2年 29%	3年 77%	全学年 42%	11月調査(定期考査直前)	1年 60%	3年 62%	3年 77%	全学年 66%		普通科(12クラス)				商業科(3クラス)	全学年(15クラス)	1年	2年	3年	全学年	学習充実度	63%	57%	78%	66%	55%	64%	授業満足度	64%	70%	72%	68%	60%	67%
6月調査	1年 28%	2年 21%	3年 58%	全学年 36%																																						
10月調査(定期考査直後)	1年 20%	2年 29%	3年 77%	全学年 42%																																						
11月調査(定期考査直前)	1年 60%	3年 62%	3年 77%	全学年 66%																																						
	普通科(12クラス)				商業科(3クラス)	全学年(15クラス)																																				
	1年	2年	3年	全学年																																						
学習充実度	63%	57%	78%	66%	55%	64%																																				
授業満足度	64%	70%	72%	68%	60%	67%																																				
評 価	B	平日の学習時間は目標に達しなかったが、互研授業は目標を達成したため																																								
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>互研授業の研修を通して、「わかる授業」を心掛けてほしい。</li> <li>もっと時間を区切って学習時間を調査し、そのグラフ化とデータをHPに掲載してほしい。また、個に応じた助言や指導が大切である。</li> </ul>																																									
次年度へ向けての課題	<p>課題を中心とした家庭学習時間の確保では限界がある。進路指導部との連携を密にし、進路意識を高めるなどの方策をとりながら、自主的な学習時間の増加につながるような方向へ持って行きたい。</p>																																									

(評価基準) A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状維持 D: 現状より悪くなった

平成20年度 氷高アクションプラン - 2 -																																					
重点項目	学習活動の充実																																				
重点課題	全商検定1級合格者の増(商業科対象)																																				
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業科では、学習意欲の向上と進路実現のため、全商検定1級合格に向けて計画的に指導している。近年の実績は以下の通りである。</li> <li>①全商1級検定合格者数(延べ人数) H19(37名)、H18(27名)、H17(28名)、過去3年間平均(31名)</li> <li>②H19全商1級検定合格者内訳 簿記(12名)、情報処理プログラミング部門(5名)、情報処理ビジネス情報部門(8名)、ワープロ(3名)、商業経済(5名)、珠算・電卓(4名)</li> <li>③全商3種目以上1級合格者数 H19(6名)、H18(3名)、H17(2名)、過去3年間平均(4名)</li> </ul>																																				
達成目標	<table border="1"> <tr> <td>①全商検定1級合格者数(延べ人数)</td> <td>②全商3種目以上1級合格者数</td> </tr> <tr> <td>35名以上</td> <td>5名以上</td> </tr> </table>	①全商検定1級合格者数(延べ人数)	②全商3種目以上1級合格者数	35名以上	5名以上																																
①全商検定1級合格者数(延べ人数)	②全商3種目以上1級合格者数																																				
35名以上	5名以上																																				
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検定の合格が、職業能力の証に通じることを日頃から諭す。</li> <li>・生徒各自の得意分野を把握し、3年間を見通して継続的に指導し、1級合格につなげる。</li> <li>・生徒の意欲を高めるため、補習や小テストを実施する。</li> <li>・教員の役割分担を工夫し、効果的な指導方法の研究に努める。</li> </ul>																																				
達成度	<table border="1"> <tr> <td>35名</td> <td>6名</td> </tr> </table>	35名	6名																																		
35名	6名																																				
具体的な取組状況	<p>(1)資格取得に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の役割分担を工夫し効果的な指導方法を確立する。</li> <li>・生徒に「1級合格」の目的意識を常に持たせるよう指導する。</li> <li>・多種目の1級を受験するよう勧める。</li> <li>・小テスト、確認テストを地道に実施し、生徒の意欲を高め、知識・技能の定着をはかる。</li> <li>・1月に補習を実施する。</li> </ul> <p>(2)平成20年度全商検定1級取得状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>簿記</td> <td>8</td> <td>2(12)</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>情報処理(プログラミング部門)</td> <td>0</td> <td>1(5)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>情報処理(ビジネス情報部門)</td> <td>1</td> <td>5(0)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ワープロ</td> <td>0</td> <td>2(0)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>商業経済</td> <td>3</td> <td>5(2)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>珠算・電卓(電卓)</td> <td>6</td> <td>2(0)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>17(19)</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>3種目以上1級合格者数</td> <td>0</td> <td>6(0)</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>( )内は、2年次1級取得状況</p>		2年	3年	計	簿記	8	2(12)	10	情報処理(プログラミング部門)	0	1(5)	1	情報処理(ビジネス情報部門)	1	5(0)	6	ワープロ	0	2(0)	2	商業経済	3	5(2)	8	珠算・電卓(電卓)	6	2(0)	8	計	18	17(19)	35	3種目以上1級合格者数	0	6(0)	6
	2年	3年	計																																		
簿記	8	2(12)	10																																		
情報処理(プログラミング部門)	0	1(5)	1																																		
情報処理(ビジネス情報部門)	1	5(0)	6																																		
ワープロ	0	2(0)	2																																		
商業経済	3	5(2)	8																																		
珠算・電卓(電卓)	6	2(0)	8																																		
計	18	17(19)	35																																		
3種目以上1級合格者数	0	6(0)	6																																		
評 価	A 2項目とも目標を達成した。																																				
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に続き、全商検定の合格者数が増えたことは評価できる。</li> <li>・生徒の学力差を考慮した個に応じた支援や指導方法の改善を望む。</li> </ul>																																				
次年度へ向けての課題	<p>生徒の学力や意欲の差が大きく、年々指導が困難になってきている。さらなるきめ細かい指導が必要であり、効果的な指導方法を工夫しなければならない。</p>																																				

(評価基準) A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった

平成20年度 氷高アクションプラン - 3 -

<b>重点項目</b>	進路支援の充実																																								
<b>重点課題</b>	3年間を見通した進路指導の取り組み																																								
<b>現 状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の能力・適性を掴みきれていないため、進路目標の設定が遅れがちである。(本年4月調査では、未定の生徒は1年7%、2年10%)</li> <li>第3学年進路希望状況(本年4月調査)</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>大学</th> <th>短期大学</th> <th>専門学校</th> <th>就職</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通科</td> <td>114名</td> <td>12名</td> <td>23名</td> <td>6名</td> <td>0名</td> <td>155名</td> </tr> <tr> <td>商業科</td> <td>12名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>14名</td> <td>0名</td> <td>38名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路意識及び学習意欲を高めるための活動や面接の充実に努めている。</li> </ul>			大学	短期大学	専門学校	就職	その他	計	普通科	114名	12名	23名	6名	0名	155名	商業科	12名	6名	6名	14名	0名	38名																		
	大学	短期大学	専門学校	就職	その他	計																																			
普通科	114名	12名	23名	6名	0名	155名																																			
商業科	12名	6名	6名	14名	0名	38名																																			
<b>達成目標</b>	①4月時点の第1志望の校種合格率 90%以上	②就職率 100%																																							
<b>方 策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路意識の向上に向けて、3年間を見通した進路指導体制を確立する。 1年次 「卒業生の進路」「職業人講話」「文理選択」 2年次 「大学訪問」「学部学科の研究」「卒業生と語る会」 3年次 「進路ガイダンス」「オープンキャンパス」「会社訪問」</li> <li>時宜に応じた面接指導の充実 年間計画の中で面接週間を位置づける。 生徒1人あたり年間、1・2年3回以上、3年5回以上実施する。</li> <li>校内模試・外部模試の有効活用</li> <li>全生徒に進路指導室利用のオリエンテーションを実施する。</li> </ul>																																								
<b>達成度</b>	85%	100%																																							
<b>具体的な取組状況</b>	<p>(1) 生徒の進路意識向上に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年次 7月 「進学講話」 8月 「職業人講話(15講座)」 9月 「文理選択の進路講話」</li> <li>2年次 7月 「大学及び企業見学」「進学講話」 12月 「系統別進路ガイダンス(22講座)」 3月 「先輩と語る会」</li> <li>3年次 7月 「進路ガイダンス」 7月～8月 「オープンキャンパス」 8月 「就職説明会」「会社訪問」</li> </ul> <p>(2) 模試の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校内模試 普通科5回(1・2年) 商業科3回</li> <li>外部模試 普通科1年3回、2年4回、3年12回 商業科1・2年1回</li> </ul> <p>(3) 面接の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>面接週間(5/12～5/17)を全学年で実施</li> <li>模試等の成績結果返却時に面接指導を実施</li> </ul> <p>(4) 最終進路状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>大学</th> <th>短期大学</th> <th>専門学校</th> <th>就職</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通科</td> <td>90名</td> <td>15名</td> <td>31名</td> <td>9名</td> <td>10名</td> <td>155名</td> </tr> <tr> <td>商業科</td> <td>11名</td> <td>6名</td> <td>8名</td> <td>13名</td> <td>0名</td> <td>38名</td> </tr> </tbody> </table> <p>*4月時点の第1志望の校種合格率は85%</p> <p>(5) 平成20年度合格状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>国公立大</th> <th>私立大学</th> <th>短期大学</th> <th>専門学校</th> <th>就 職</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通科</td> <td>29名</td> <td>149名</td> <td>21名</td> <td>42名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>商業科</td> <td>2名</td> <td>13名</td> <td>6名</td> <td>8名</td> <td>13名</td> </tr> </tbody> </table>			大学	短期大学	専門学校	就職	その他	計	普通科	90名	15名	31名	9名	10名	155名	商業科	11名	6名	8名	13名	0名	38名		国公立大	私立大学	短期大学	専門学校	就 職	普通科	29名	149名	21名	42名	8名	商業科	2名	13名	6名	8名	13名
	大学	短期大学	専門学校	就職	その他	計																																			
普通科	90名	15名	31名	9名	10名	155名																																			
商業科	11名	6名	8名	13名	0名	38名																																			
	国公立大	私立大学	短期大学	専門学校	就 職																																				
普通科	29名	149名	21名	42名	8名																																				
商業科	2名	13名	6名	8名	13名																																				
<b>評 価</b>	B	4月時点の第1志望校種合格率はやや目標を下回ったが、就職率は目標を達成したため																																							
<b>学校評議員の意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する生徒の進路希望に対応できる進路指導体制の工夫が必要である。</li> <li>生徒の学力差に応じた授業の展開や教科指導の方法を考えてほしい。</li> <li>1年次より進路意識を持たせて進学実績を高めてほしい。</li> </ul>																																								
<b>次年度へ向けての課題</b>	<p>生徒間に学力差があり、確かな学力の定着をはかることが大切である。また、生徒の進路意識や学習意欲を高めるための3年間を見通した進路指導体制が必要である。</p>																																								

(評価基準) A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状維持 D: 現状より悪くなった

平成20年度 氷高アクションプラン - 4 -

重点項目	学校生活の充実																																																																			
重点課題	品性を高めあう態度の育成																																																																			
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の品性を高めあう活動として、夏・秋の「さわやか運動」や校風委員会による早朝挨拶運動(平成19年度は年間46日間)を行っている。</li> <li>服装指導は、各学期2回全校集会時に服装検査を実施している。</li> <li>清掃は毎日行い、さらに月に1度「クリーンアップディ」を設定し、清掃の徹底及び美化意識の向上を図っている。</li> <li>ゴミの分別がなかなか徹底できない。</li> </ul>																																																																			
達成目標	①氷高さわやかディへの参加者 年間550名以上	②清掃徹底の日 年間10回以上																																																																		
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>「氷高さわやかディ」と称し、毎月1日と15日を基準に、朝の挨拶運動を実施(年間19回)する。</li> <li>今年、「氷高さわやかディ」の活動に、各クラス年間1回クラス単位で参加する。</li> <li>服装指導については、違反者の事後指導をねばり強く行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員で、清掃指導を徹底する。</li> <li>今年、「クリーン・アップディ」の日に、保健委員と保健部職員による清掃点検を徹底する。</li> <li>清掃用具の点検(学期に1回)</li> <li>ゴミの分別について具体的にゴミ箱の張り紙やプリント等を利用し徹底する。</li> </ul>																																																																		
達成度	535名	年間11回実施																																																																		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝8:10～8:30まで、挨拶運動を実施</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施日</th> <th>担当</th> <th>実施日</th> <th>担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>さわやかディ</td> <td>教員</td> <td>15日</td> <td>31H</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>1日</td> <td>32H</td> <td>15日</td> <td>33H</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>2日</td> <td>34H</td> <td>16日</td> <td>35H</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>1日</td> <td>教員</td> <td>15日</td> <td>21H</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>さわやかディ</td> <td>教員</td> <td>16日</td> <td>22H</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>1日</td> <td>23H</td> <td>15日</td> <td>教員</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>5日</td> <td>25H</td> <td>17日</td> <td>24H</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>1日</td> <td>教員</td> <td>15日</td> <td>11H</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>さわやかディ</td> <td>教員</td> <td>15日</td> <td>12H</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>2日</td> <td>13H</td> <td>16日</td> <td>14H</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>2日</td> <td>教員</td> <td>16日</td> <td>15H</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>3年生</td> <td>189名</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>163名</td> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td>183名</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計535名</p>	月	実施日	担当	実施日	担当	4月	さわやかディ	教員	15日	31H	5月	1日	32H	15日	33H	6月	2日	34H	16日	35H	7月	1日	教員	15日	21H	9月	さわやかディ	教員	16日	22H	10月	1日	23H	15日	教員	11月	5日	25H	17日	24H	12月	1日	教員	15日	11H	1月	さわやかディ	教員	15日	12H	2月	2日	13H	16日	14H	3月	2日	教員	16日	15H	3年生	189名	2年生	163名	1年生	183名	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期の始めや終わりの大掃除では保健委員が3班に分かれ、ガム、クモの巣、塵取りを実施した。</li> <li>毎月1回「クリーンアップディ」を設け、保健厚生部職員と保健委員が清掃後に点検を実施し、汚れていた場所の改善を促した。</li> <li>8月末に保健委員が全てのゴミ箱を利用しやすいように洗った。</li> <li>ゴミの分別徹底のため、マニュアルを各教室に掲示し、回収場所もはっきりわかるようにした。</li> <li>学校祭前に保健委員が中庭のテラスを清掃し、卒業式前に校舎周辺のゴミ拾いをした。</li> <li>教室のワックスがけを実施した。</li> <li>清掃用具の点検及びダスキンモップを交換した。</li> </ul>
月	実施日	担当	実施日	担当																																																																
4月	さわやかディ	教員	15日	31H																																																																
5月	1日	32H	15日	33H																																																																
6月	2日	34H	16日	35H																																																																
7月	1日	教員	15日	21H																																																																
9月	さわやかディ	教員	16日	22H																																																																
10月	1日	23H	15日	教員																																																																
11月	5日	25H	17日	24H																																																																
12月	1日	教員	15日	11H																																																																
1月	さわやかディ	教員	15日	12H																																																																
2月	2日	13H	16日	14H																																																																
3月	2日	教員	16日	15H																																																																
3年生	189名																																																																			
2年生	163名																																																																			
1年生	183名																																																																			
評 価	A	本年度の目標は、概ね達成できたため																																																																		
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちのいい挨拶が交わされており好感がもてる。</li> <li>一時的なものではなく、自然と挨拶が行われるような学校になってほしい。</li> <li>一部の生徒ではなく学校全体で取り組んでいることは大変よいことである。挨拶は自分の存在を相手に伝えることである。継続して取り組んでほしい。</li> <li>校内には落書きもないしゴミも落ちていない。清掃がしっかり行われている。</li> </ul>																																																																			
次年度へ向けての課題	<p>学校全体で挨拶を交わす雰囲気が生まれている。地域からも評価を得ており、この気運を大切にしたい。清掃については、9割の生徒が「清掃をきちんとしている」と回答している。挨拶や清掃が自主的に行われるような学校を目指したい。</p>																																																																			

(評価基準) A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状維持 D: 現状より悪くなった

平成20年度 氷高アクションプラン - 5 -																										
重点項目	特別活動と読書指導の充実																									
重点課題	自主・友愛・協調の精神と思索する心の育成																									
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事(体育大会、芸術鑑賞会、氷高祭、球技大会等)に積極的に参加し、友愛と協調の精神を感得させるように努めている。</li> <li>・部活動は、全校生徒の51%が運動部に、23%が文化部に加入(平成19年度)し、熱心に活動に取り組んでいる。</li> <li>・読書指導については、生徒図書委員会による読書会の開催や各クラスへの学級文庫の設置等、本好きの生徒の輪を広げる活動を行っている。図書館の年間図書貸出冊数は、平成18年度は642冊(生徒一人あたり1.02冊)、平成19年度は882冊(同:1.5冊)であった。</li> </ul>																									
達成目標	<table border="1"> <tr> <td>①生徒の学校行事満足度</td> <td>②生徒一人あたりの年間図書貸出冊数</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>年間2冊以上</td> </tr> </table>	①生徒の学校行事満足度	②生徒一人あたりの年間図書貸出冊数	80%以上	年間2冊以上																					
①生徒の学校行事満足度	②生徒一人あたりの年間図書貸出冊数																									
80%以上	年間2冊以上																									
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会が学校行事に積極的に関わることにより、生徒たちの満足度の高い活動となるよう工夫する。</li> <li>・部活動紹介等折に触れて、学習と部活動を両立させることが高校生活の充実に繋がることを諭し、部活動加入率をアップする。</li> <li>・今年、全クラスで図書館利用のオリエンテーションを実施する。</li> <li>・読書会や教養講座の開催、学級文庫の充実、「図書だより」の発行を通して、読書に興味・関心を持たせる取組を工夫する。</li> <li>・図書館を利用した各教科の授業を積極的に推進する。</li> </ul>																									
達成度	<table border="1"> <tr> <td>76.5%</td> <td>1.4冊</td> </tr> </table>	76.5%	1.4冊																							
76.5%	1.4冊																									
具体的な取組状況	<p>学校行事(体育大会、芸術鑑賞会、氷高祭、球技大会)終了後に、事後アンケートを実施した。各行事の満足度は次の通りである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育大会</td> <td>76%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>芸術鑑賞会</td> <td>67%</td> <td>73%</td> <td>77%</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>氷高祭</td> <td>75%</td> <td>81%</td> <td>83%</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>球技大会</td> <td>73%</td> <td>79%</td> <td>78%</td> <td>76%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)読書活動の推進のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の読書会、教養講座、図書館利用オリエンテーションの実施。学級文庫設置。図書館を利用した授業の推進。</li> <li>・月1回の「図書だより」や、新刊図書案内の工夫。</li> <li>・生徒による興味のある本の店頭購入を2回実施した。</li> </ul> <p>(2)図書貸し出し状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の図書貸し出し総数は851冊(一人あたり約1.4冊)。</li> </ul>		1年	2年	3年	平均	体育大会	76%	80%	80%	79%	芸術鑑賞会	67%	73%	77%	72%	氷高祭	75%	81%	83%	80%	球技大会	73%	79%	78%	76%
	1年	2年	3年	平均																						
体育大会	76%	80%	80%	79%																						
芸術鑑賞会	67%	73%	77%	72%																						
氷高祭	75%	81%	83%	80%																						
球技大会	73%	79%	78%	76%																						
評 価	B 両項目とも目標とする達成度をやや下回ったため																									
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にとって魅力ある図書を購入し、学校全体で本を読む機会を設けられないだろうか。</li> <li>・「読書マラソン」などの企画によって、年間読書冊数が多い生徒を表彰するなど生徒の意識高揚をはかること効果的だと考える。</li> <li>・図書室の本を借りて読むことに限らず、本を〇〇冊以上読もうという取り組みも考えられる。</li> </ul>																									
次年度へ向けての課題	<p>生徒の学校行事への満足度を80%以上にするためには、満足度の低い学年(1年生)にもっと積極的にかつ楽しく参加できるような工夫が必要である。また、図書の貸し出しについては、早期に図書のデータベースを進め、教職員や生徒がPCを活用して図書の貸し出しや検索ができるよう図書館の魅力アップをはかりたい。</p>																									

(評価基準) A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった

平成20年度 氷高アクションプラン - 6 -

重点項目	信頼される学校づくりの推進																									
重点課題	学校と地域・家庭との連携の充実																									
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した活動への参加を積極的に推進している。地域交流活動への参加生徒の延べ人数は、平成18年度は155人、平成19年度は252名であった。</li> <li>・生徒を通じて配布する保護者あての各種文書が、保護者に確実に届いていない場合が少なからずある。このため、学校の活動状況等を保護者の携帯電話等に直接連絡する「氷高ほっとメール」への参加を勧めており、平成18年度は123名、平成19年度は193名であった。</li> </ul>																									
達成目標	①地域交流活動等への参加者 ----- 年間250名以上	②「氷高ほっとメール」への参加者 ----- 250名以上																								
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内に地域交流活動等の掲示板を設け、活動の情報、様子、参加者の感想を掲示し、生徒の理解や意識を高める。</li> <li>・ボランティア活動推進委員会を中心に本校独自の活動を企画し、実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「氷高ほっとメール」の有用性についてPRし、参加者の拡大を図る。</li> <li>・保護者対象の学年研修会や講演会等の諸活動に、より多く参加いただけるよう種々工夫する。</li> </ul>																								
達成度	218名	257名																								
具体的な取組状況	<p>(1) 地域交流活動としては、氷見市社会福祉協議会などより様々な案内をいただいたものを、各教室に配布し、ボランティアなどを募集する。 また、夏・秋のさわやか週間の期間にクラス役員・生徒会の生徒が中心になって、地域清掃を行った。</p> <p>(2) 地域交流活動への参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北信越大会自転車競技競技委員補助</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有機高校・氷見高校合同生徒会行部氷見市内商店街清掃ボランティア</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>夏のさわやか運動</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>アルゲイア雨晴納涼祭ボランティア</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>氷見祭り学生ボランティア</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>高校生あつたかハートスキルアップ研修会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>秋のさわやか運動</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>HR活動朝日山清掃</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>家庭科保育園交流訪問</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>こもれびの里</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>218</td> </tr> </tbody> </table> <p>現在の登録件数は、ほぼ目標は達成されている。4月からの情報発信件数は54件、一ヶ月平均5～6件の情報を保護者の携帯メールに送信している。 平成20年度は、前年度に比べて不審者情報は少なくなっており、学校行事、部活動やPTA活動の案内など学校での生徒の活動の様子を多く情報発信している。 また、電子メールによる教育相談を可能にしているが、メールによる苦情や相談はなかった。 本校の教育活動についての保護者アンケートからは、約84%の方が「学校の指導方針や教育活動が分かりやすく伝えられている。」という結果が出ている。</p>		活 動 名	参加人数	北信越大会自転車競技競技委員補助	20	有機高校・氷見高校合同生徒会行部氷見市内商店街清掃ボランティア	12	夏のさわやか運動	30	アルゲイア雨晴納涼祭ボランティア	2	氷見祭り学生ボランティア	17	高校生あつたかハートスキルアップ研修会	2	秋のさわやか運動	30	HR活動朝日山清掃	41	家庭科保育園交流訪問	46	こもれびの里	18	計	218
活 動 名	参加人数																									
北信越大会自転車競技競技委員補助	20																									
有機高校・氷見高校合同生徒会行部氷見市内商店街清掃ボランティア	12																									
夏のさわやか運動	30																									
アルゲイア雨晴納涼祭ボランティア	2																									
氷見祭り学生ボランティア	17																									
高校生あつたかハートスキルアップ研修会	2																									
秋のさわやか運動	30																									
HR活動朝日山清掃	41																									
家庭科保育園交流訪問	46																									
こもれびの里	18																									
計	218																									
評 価	B	地域交流活動への参加者は目標を達成できなかったが、「氷高ほっとメール」は、目標値を達成できたため																								
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の指導方針・教育活動、生徒会活動等より幅広く地域と連携した活動を進め、情報を家庭や地域に発信していくことが大切と考える。</li> <li>・ボランティア精神のすばらしさを育ててほしい。</li> </ul>																									
次年度へ向けての課題	<p>地域交流活動は、クラス役員・生徒会執行部の生徒に集中したが、次年度は生徒一人一人に声かけをして参加者を募るようにしたい。「氷高ほっとメール」については、参加者を全校生徒数の50%以上を目標に、さらにPRに努め、保護者の学校への関心が高まるよう、情報発信内容を工夫したい。</p>																									

(評価基準) A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状維持 D: 現状より悪くなった